

【松川町】校務DX計画

2024年12月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	100%	100%	100%	100%
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	33%	67%	100%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	33%	67%	100%	100%	100%
選択項目	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	67%	100%	100%	100%	100%
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	33%	67%	100%	100%	100%
	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	0%	33%	100%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> ・法定外控除の受け取りや各種手当の申請のための本人印が義務付けられているため、この点については押印の廃止はできない。 ・Faxについては、個人商店や給食の地産地消で取引のある多くの農家とのやり取り、ネット通販業者とのFax送信表でのやり取りが多い。その中でも個人商店や給食で取引のある農家は、Faxでの取引しか対応していないところが多い。 ・もし個人商店や給食関係の農家とのやり取りがすべてメールになったとしても学校のメールアドレスに接続できるPCが少なく事務の先生にメールを処理していただいているため、メールの数が多くなればなるほど仕事量が増えて対応しきれないのが現状である。 				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・実現するうえで障害となる課題があるが、できることからやっていくことが重要であるとする。当面、押印については、お金と関係ないところで、Faxについては業者とのやり取り以外の学校から発信する部分について、クラウド上での共有、ペーパーレス化については個人情報等のマル秘事項以外で100%をめざす。クラウド環境を活用した校務DXの徹底については、校務DXチェックリストに掲載されているもの全ての徹底は課題も多く、まずは選択項目の徹底を図ることが望ましいと考える。やがて、教育委員会及び学校以外のところで、障害となる課題の解決が実現したときには、完全実施となるよう取り組む。(上記数値は、そういう意味での値である) 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・校務系ネットワーク・システムは、Cloud上ではないため、職員室でないと見ることができない。そこで、GoogleWorkspaceを基本として町内学校及び保護者(場合によっては地域)をオンライン共有で結びつつ、それぞれの学校では、その学校に合った合理的で利便性の高いグループウェアを構築して、文科省が提唱するように、できるだけクラウド完結を目指した校務システムを検討する。 				